

2021 年 6 月



親切会

関東支部便り (No.15)

連絡先：〒101-0032

東京都千代田区岩本町 2-9-6

ゆいまーるひたち 4 階

電 話：070-3603-2172

メール：shinsetsukai-honbu@hdq.hitachi.co.jp

第 15 回 支部幹事会を開催

6 月 16 日 (水) 15 時から日立製作所労働組合本部 5 階会議室で第 15 回支部幹事会が開催されました。東京五輪・パラリンピック開催まで 1 か月近くとなり、新型コロナウイルスの感染対策としてのワクチン接種が全国的に急速に進展しています。まず、鈴木支部長から「コロナ禍の大変な状況の下で親切会活動をどのようにやっていくかを考えなければならない。皆さんのご協力をお願いする。」と挨拶がありました。

続いて議事に入り、2020 年度の支部の事業報告及び決算・監査の報告があり、続いて 2021 年度の事業計画及び予算の説明がありました。日立グループの再編・合併に伴い当会から離脱する大口の法人会員の退会と加えて社員食堂閉鎖による歳末募金活動の減少等収入減があり、これに対応する支出面の削減策として、寄附先の見直しと寄付額の一部削減を実施しました。この傾向は今年度も継続していくことが想定されます。

これらの対策として個人会員の勧誘とともに法人会員の新規加入の促進が大きな課題となります。そのために親切会 HP の充実と未加入会社への粘り強い勧誘等その方法について話し合いを行いました。また、善行者表彰は地道に途切れることなく継続的に実施できるよう、法人会員各社に依頼するなどの対策を実施します。

福祉施設への寄付活動等も、コロナ禍のために対面・交流の活動が制限されています。早く従来の環境に戻って欲しいものです。

昨年末より当会ホームページのリニューアルを進めています。関東支部も独立したエリアを設け支部の紹介と活動をタイムリーに発信する予定です。この支部便りもデータ化して、そこに貼り付けるつもりです。もう少しお待ち下さい。

次の開催は、9 月 15 日 (水) を予定しています。

—会員をご紹介ください—

個人会員	年会費	2,000 円
法人会員	年会費	36,000 円

当会の趣旨をご理解いただき、ご協力を願えば幸いです。事務局(上記事務所)にご連絡頂ければ申込書(振込用紙)を送らせていただきます。



ヘルプマークとは

義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、または妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう、東京都が作成したマークです。近隣の各県でもこのマークを導入し、普及に取り組んでいます。全国的にもマークの普及が進み、紙製、木製など様々なタイプのマークが使用されています。



ヘルプマークをつけた方を見かけたら

電車・バスの中で、席をお譲りください。

外見では健康に見えても、疲れやすかったり、つり革につかまり続けるなどの同じ姿勢を保つことが困難な方がいます。また、外見からは分からないため、優先席に座っていると不審な目でみ

られ、ストレスを受けることがあります。駅や商業施設等で、声をかけるなどの配慮をお願いします。

交通機関の事故等、突発的な出来事に対して臨機応変に対応することが困難な方や、立ち上がる、歩く、階段の昇降などの動作が困難な方がいます。

災害時は、安全に避難するための支援をお願いします。視覚や聴覚に障がいがあり、状況把握が難しい方、肢体に障がいがあり、自力での迅速な避難が困難な方など様々な方がおられます。

ヘルプマークは「席を譲ってほしい」「手を貸してほしい」といったヘルプマークを付けている人が口に出して言いにくいお願いを代弁しています。

ぜひ、ヘルプマークをつけている人を見かけたら、手助けできることを伝えましょう

寄附先紹介



善意の架け橋

東京善意銀行

今回は、親切会関東支部の最大の寄付先である「東京善意銀行」について紹介します。

善意銀行は、金銭を扱う普通の銀行ではなく個人、企業、団体などから善意で寄付された金品を都内の福祉施設に橋渡しする組織です。

東京善意銀行の成り立ち、しくみは次のとおりです。

善意銀行のしくみ

東京善意銀行は都民・企業・団体の皆様の「社会に役に立ちたい、困っている人の支援をしたい」という善意を生かすために、昭和 39 年（1964 年）10 月に財団法人東京善意協会として活動を始めました。昭和 45 年（1970 年）に東京善意銀行と改称し、平成 17 年（2005 年）に東京都社会福祉協議会に移管し事業を継続しています。

皆様からお預かりした現金寄付は、社会施設が必要とする物品の購入費用などとして、東京善意銀行運営委員会に諮り都内各福祉施設に配分します。また、物品の預託や催物等の招待も、施設の希望内容と合うようにお贈りします。

— 善意銀行事業報告書より抜粋 —

上記のとおり、寄付は福祉施設が必要とする物品の購入費用に充てる現金だけではなく、物品寄付、イベントへの招待寄付などを受付けしております。

2020 年度の寄付受付実績は、現金寄付 27,625K¥(148 件)、物品寄付 667K¥(107 件)、招待寄付 26 件でした。

寄付金の配分は、毎年配分対象の施設（約 2400 施設）から必要とする物品の要望を募り、東京善意銀行運営委員会に諮り配分先を決定し各施設に物品の購入代金として送金しております。主な購入希望品は車いす、介護用ベッド、家電品、パソコン関係、家具ですが、コロナの影響もあり除菌・衛生関連品も多くなっております。

親切会は毎年寄付しており、昨年はコロナの影響で金額は例年より半減しましたが 昨年 12 月に 1,000K¥の寄付金を手渡ししております。

親切会の寄付金の配分先は 7 件（下表参照）でした。東京善意銀行は東京都社会福祉協議会の組織を活用し、親切会独自ではなかなかコンタクトできない施設に広く寄付ができる点で、長い間寄付しており継続が大切かと思えます。

（鈴木 健二 記）

2020年親切会寄付金配分先

施設名	所在地	施設の種別	寄付品名
特別養護老人ホームさんじゅ阿佐ヶ谷	杉並区	特別養護老人ホーム	自走式車いす2台
特別養護老人ホーム第三南陽園	杉並区	特別養護老人ホーム	平行棒
練馬の丘キングス・ガーデン	練馬区	特別養護老人ホーム	自走式車いす5台
第二奥戸くつろぎの郷	葛飾区	地域密着型介護老人福祉施設	ベッドサイドテーブル8台
グループホームこがねい	小金井市	共同生活援助	加湿空気清浄機2台
地域生活支援センタープラッツ	国分寺市	地域支援活動センター	パソコン、ポット、使い捨て手袋・マスク
おおぞら	目黒区	就労継続支援B型	ワイヤレスマイク拡声器スピーカーセット

【東京善意銀行】HP より



一般社団法人親切会関東支部様に 感謝状を贈呈しました

一般社団法人親切会関東支部より現金のご寄附をいただきました。

今年もコロナ禍にかかわらず、東京の福祉施設のために貴重な寄附をお寄せいただきました。

長く寄附活動を続けていただき、ありがとうございます。東京善意銀行から感謝状をお渡ししました。

親切会は、昭和 34 年に尼崎でボランティア・福祉活動などの活動を出発点として始まり、その後、日立グループを母体に全国 9 つの支部でそれぞれの活動を発展され、今年 4 月に一般社団法人として新しいスタートを切られました。

親切会、関東支部様には東京善意銀行を通じて行う都内の社会福祉施設への支援を、昭和の頃より毎年欠かさずにご継続いただいています。

改めて感謝を申し上げます。親切会関東支部の皆さま、いつもありがとうございます。

いただいたご寄附は今年もたくさんの施設でご活用いただきます！！



（写真右より東京善意銀行 高山福祉振興部長、親切会井草本部長、鈴木監事です）